

一般用医薬品の通信販売解禁を推進する議員連盟
厚生労働省提出資料

- ・ 前回（2／21）指摘事項 説明資料
各調査の目的、調査項目
- ・ （参考）前回配布資料

平成24年4月25日

医薬食品局総務課

○ 郵便等販売に係る経過措置利用状況調査

■目的

離島居住者及び継続使用者に対する郵便等販売の経過措置について、その利用状況を把握し、経過措置延長是非の判断材料とすること。

■調査実施時期

平成22年12月～平成23年1月

■調査項目

平成22年11月30日現在、離島居住者及び継続使用者に係る経過措置を利用する旨を届け出ている薬局・薬店に対して、以下の項目を調査（2,099件より回答）。

- ・郵便等販売に係る届出内容
（離島居住者、継続使用者、薬局製造販売医薬品、第2類医薬品の別）
- ・最も使用頻度が高いツール
（電話、FAX、インターネット、はがき・手紙、その他の別）
- ・平成22年6月以降の郵便等販売の実績の有無
- ・平成22年10月～11月の間に郵便等販売を行った医薬品の区分（薬局製造販売医薬品、第2類医薬品、第3類医薬品の別）及び送付先数
- ・平成22年10月～11月の間に郵便等販売を行った第2類医薬品の個数及び主な種類
- ・平成22年10月～11月の間に郵便等販売を行った薬局製造販売医薬品の個数及び主な種類

○ 平成22年度一般用医薬品販売制度定着状況調査

■ 目的

平成21年6月に施行された改正薬事法を踏まえ、一般用医薬品の販売制度の実効性を確保するため、一般消費者の立場から制度の定着状況等を覆面調査の手法を用いて点検・調査することにより、医薬品販売の適正化を図るもの。

■ 調査実施時期

平成22年12月～平成23年3月

※平成23年度も同様の目的・調査項目で実施中。平成24年度も予算に計上。

■ 調査項目

(1) 薬局・薬店の店舗に関する調査

全国の薬局・薬店のうち、一般用医薬品の取扱いがある薬局・薬店について以下の項目を調査（6,829件調査票回収）。

- ・一般用医薬品の取扱状況（リスク分類別）
- ・調査時点の店舗内の状況
- ・医薬品の陳列状況
- ・店舗内の掲示状況
- ・名札の着用状況
- ・第1類医薬品の販売状況
- ・第2類医薬品の販売状況

(2) 郵便等販売に関する調査

ウェブ上で一般用医薬品を取り扱っている販売サイトについて以下の項目を調査（200件調査票回収）。

- ・ウェブ上での一般用医薬品の取扱状況（リスク分類別）
- ・薬局等の管理及び運営に関する事項の記載状況
- ・一般用医薬品販売制度に関する事項の記載状況
- ・ウェブ上での第2類医薬品の販売状況
- ・電話での問い合わせへの対応状況
- ・eメールでの問い合わせへの対応状況
- ・販売する一般用医薬品の名称、有効成分等に関する情報の記載状況

(3) 配置販売に関する調査

薬局・薬店調査の調査員の自宅等に来訪した配置販売業者について、以下の項目を調査（52件調査票回収）。

- ・一般用医薬品の取扱状況（リスク分類別）
- ・医薬品の陳列状況
- ・名札の着用状況
- ・第2類医薬品に関する説明等の状況

一般用医薬品の通信販売解禁を推進する議員連盟

厚生労働省 資料

平成24年2月21日
厚生労働省医薬食品局

一般用医薬品の販売制度に係る

薬事法改正の内容

＜施行期日＞

平成21年6月1日

※リスク分類指定については、平成19年4月1日

登録販売者試験については、平成20年4月1日

リスクの程度に応じた一般用医薬品の分類と販売に当たったの情報提供

リスク分類：薬事・食品衛生審議会の意見を聴いて指定。

新たな知見、使用に係る情報の集積により見直しが行われる。



第一類医薬品：特にリスクが高いもの

一般用医薬品としての使用経験が少ない等
安全性上特に注意を要する成分を含むもの

(例) 現時点では、H2ブロッカー含有薬、
一部の毛髪用薬 等

第二类医薬品：リスクが比較的高いもの

まれに入院相当以上の健康被害が生じる
可能性のある成分を含むもの

(例) 主なかぜ薬、解熱鎮痛薬、
胃腸鎮痛鎮けい薬 等

第三類医薬品：リスクが比較的低いもの

日常生活に支障を来す程度ではないが、
身体の変調・不調が起こるおそれがある
成分を含むもの

(例) ビタミンB・C含有保健薬
主な整腸薬、消化薬 等

質問がなくても
行う情報提供

義

務(注1)

(注1) 文書を用いて説明

努力義務

不要

相談があった
場合の応答

義務

対応する専門家

薬剤師

薬剤師又は登録販売者(注2)

(注2) 今回の制度改正により新たに導入された資質確認のための試験に合格し、登録を受けた者

インターネット
販売の可否

否

否(注3)

可

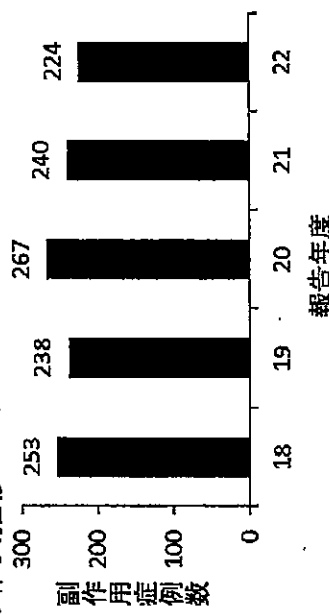
(注3) 平成25年5月末まで、離島居住者及び継続使用者には販売可能

一般用医薬品によるものと疑われる副作用について

一般用医薬品による副作用

- 医薬品は、病気を治す等の効能・効果を有する一方、健康を害する様々な副作用が生じうる。
- 副作用は一般用医薬品でも発生しうるものであり、一般用医薬品によるものと疑われる副作用が毎年250症例前後報告されている。
- 場合によっては、アナフィラキシーショック(血圧低下や呼吸困難等のショック症状)、肝機能障害等の重篤な副作用が生じ、更には死亡に至る可能性もある。

1. 一般用医薬品による副作用報告(副作用症例数)の年次推移



3. 死亡症例の状況(平成18年度から22年度)

薬効分類	症例数	副作用症状
総合感冒剤(かぜ薬)	11	中毒性表皮壊死融解症、肝不全、間質性肺炎症、汎血球減少症等
解熱鎮痛消炎剤	2	代謝性アシドーシス、ライ症候群等
制酸剤	1	心不全
漢方製剤	1	間質性肺炎症
混合ビタミン剤 ¹⁾	1	劇症肝炎
催眠鎮静剤、抗不安剤	1	死亡
合計	17	

- 注) 1. ビタミンA・ビタミンD混合製剤を除く。
 2. 死亡症例の報告については、製造販売業者から報告されたものであり、医薬品による副作用と死亡との因果関係が不明のものを含んでいる。
 3. データは、平成23年12月時点での集計値

2. 薬効群別副作用症例数の状況(平成18年度から22年度)

薬効分類	副作用症例数	主な副作用
総合感冒剤(かぜ薬)	433	ステイブンス・ジョンソン症候群、急性腎不全、肝不全等
解熱鎮痛消炎剤	254	ステイブンス・ジョンソン症候群、間質性肺炎症、肝障害等
漢方製剤	113	間質性肺炎症、肝機能異常、中毒性表皮壊死融解症等
薬性補助剤	58	自覚念慮、狭心症、ショック等
耳鼻科用剤	47	アナフィラキシー反応、脳出血、横紋筋融解症等
鎮咳去たん剤	26	アナフィラキシーショック、ステイブンス・ジョンソン症候群、黄痘等
鎮痛、鎮静、収れん、消炎剤	25	喘息、急性汎血球減少性腫瘍症、接触性皮膚炎等
下剤、瀉腸剤	23	直腸穿孔、アナフィラキシーショック、偽アルドステロン症等
複合胃腸剤	18	血小板減少症、劇症肝炎、慢性腎不全等
その他	225	
合計	1222	

- 注) 1. 副作用報告については、医薬品との因果関係が不明なものを含め製造販売業者から報告されたものであり、個別に医薬品との関連性を評価したものではない。
 2. データは、平成23年12月時点での集計値。
 3. アナフィラキシーショック: 血圧低下、呼吸困難等のショック症状。
 4. ステイブンス・ジョンソン症候群: 発熱、発疹、粘膜のただれ、眼珠の充血等の症状を特徴とし、予後が悪い場合、失明や致命的になることもある。
 5. アナフィラキシーショックやステイブンス・ジョンソン症候群は、広範な一般用医薬品により起こるものとされている。

郵便等販売の経過措置について

- 郵便等販売は、副作用等のリスクの低い第3類医薬品に限定。
- ただし、薬局・薬店のない離島居住者については、それ以外の者と比較して、地理的制約から薬局・薬店において対面で医薬品を購入することが特に困難であることから、また、改正法施行前に購入した医薬品を現に継続使用中の者については、改正法施行後に当該医薬品を引き続き購入できなくなる不便を考慮し、一定の条件を付した上で、平成23年5月31日までの2年間、第2類医薬品（薬局については薬局製造販売医薬品を含む。）の郵便等販売を可能とする経過措置が設けられたところ。

- ・ 離島居住者に対する経過措置
薬局・薬店の無い離島の居住者に対して販売する場合
- ・ 継続使用者に対する経過措置
改正法施行（平成21年6月1日）前に購入した医薬品を改正法施行時に現に継続使用している者に対して、同じ薬局・薬店がその医薬品と同一の医薬品を販売する場合

経過措置の利用状況調査において、相当数の利用が判明



経過措置を2年間延長（～平成25年5月31日）

郵便等販売に係る経過措置利用状況調査

(目的)

本年5月末で離島居住者・継続使用者に対する郵便等販売に関する経過措置が終了予定。本年6月以降のこれらの方々への郵便等販売の取扱について検討を行うに当たり、現時点での経過措置の利用状況を把握することを目的とする。

(調査方法)

- 郵便等販売を行うとして都道府県等へ届出をしている薬局等に対し、各自治体を通じて、経過措置による販売状況等について、アンケート調査を実施。
- 調査時期は、平成22年12月10日～平成23年1月17日

(主な調査項目)

- (1) 郵便等販売で最も使用頻度が高いツール(電話、FAX、ネット、はがき等)
- (2) 経過措置として郵便等販売を行った主な第2類医薬品等の種類
- (3) 平成22年10月～11月の郵便等販売における第2類医薬品等の送付先件数 等

(薬局等からの回答数)

○2,099件 (うち、薬局1,380件、薬店719件)

→回収率は、43.2% (2,099件/4,860件※)

[※郵便等販売を行うとして届出をしている薬局等の数:4,860件(昨年11月末時点)
(うち、薬局2,940件、薬店1,920件)]

(主な調査結果)

① 郵便等販売で最も使用頻度が高いツール(電話、FAX、ネット、はがき等)

■郵便等販売を行うにあたり、最も多用するツールは何か:(有効回答数2,092件)

電話 71.0%(1,485件) / FAX 1.5%(31件) / インターネット 7.4%(155件) /
はがき 0.9%(19件) / その他 1.6%(34件) / 実績無し 17.6%(368件)

② 経過措置を利用して郵便等販売を行った医薬品の主な種類(店舗ごとに上位3種類選択)

■第2類医薬品:(上位3種類に選択した店舗が多かったもの)

1位 漢方製剤^(359店舗) 2位 滋養強壮保健薬(ビタミン主薬製剤、生薬主薬製剤等を含む。)^(569店舗) 3位 消化器官用薬^(288店舗)

■薬局製造販売医薬品:(上位3種類に選択した店舗が多かったもの)

1位 漢方製剤^(324店舗) 2位 精神神経用薬(かぜ薬(内用)、解熱鎮痛薬等を含む。)^(81店舗) 3位 外用薬^(64店舗)

③ 平成22年10月～11月の郵便等販売における第2類医薬品等の送付先件数

■第2類医薬品の送付先件数:

- 総数:のべ91,048件
- 1店舗当たりの送付先件数:中央値 8件、平均値 68件(／1個以上郵便等販売をしたと回答した1,313業者)

[うち、離島居住者あて 0.8%(678件) / 継続使用者(同一県内)あて 24.2%(22,050件)
継続使用者(県外)あて 75.0%(68,320件)]

■薬局製造販売医薬品の送付先件数:

- 総数:のべ37,911件
- 1店舗当たりの送付先件数:中央値 7件、平均値 103件(／1個以上郵便等販売をしたと回答した365業者)

[うち、離島居住者あて 1.6%(594件) / 継続使用者(同一県内)あて 60.8%(23,064件)
継続使用者(県外)あて 37.6%(14,253件)]

規制・制度改革に係る追加方針(抄)

平成23年7月22日閣議決定

「規制・制度改革に係る方針」(平成23年4月8日閣議決定)において、「現時点で調整が終了していない事項については、今後調整を行い、別途閣議決定を行うこととする。」としていたところ、その後の調整により、政府内の調整が終了した事項について、別紙のとおり、「規制・制度改革に係る追加方針」を定める。

【ライフイノベーション④】

規制・制度改革事項	一般用医薬品のインターネット等販売規制の見直し
規制・制度改革の概要	① 安全性を確保する具体的な要件の設定を前提に、<u>第三類医薬品以外の薬局・薬店による郵便等販売、及びその他の工夫も含め、当面の合理的な規制の在り方について検討し、可能な限り、早期に結論を得る。</u> ＜平成23年度検討開始＞ ② なお、医薬品の販売・流通規制の在り方については、今後の環境変化に対応し、断続的に検討・見直しを行う。 ＜逐次実施＞ ③ 第一類から第三類のリスク区分についても、不断の見直しを行う。＜逐次実施＞ ④ 一般用医薬品を安全・安心・円滑に供給する観点から、薬剤師等の合理的かつ適切な対面販売の実施状況、円滑供給への寄与度等について検証する。 ＜平成23年度検討開始＞ ⑤ 経過措置期間中の副作用発生状況等を検証し、上記②の断続的な検討・見直しの内容に反映する。 ＜平成23年度以降検討開始＞
所管省庁	厚生労働省

一般用医薬品のインターネット等販売規制の見直し 対処状況

対処方針

具体的対処状況と今後の見通し

①安全性を確保する具体的な要件の設定を前提に、第三類医薬品以外の薬局・薬店による郵便等販売、及びその他の工夫も含め、当面の合理的な規制の在り方について検討し、可能な限り、早期に結論を得る。＜平成23年度検討開始＞	①安全性を確保する具体的な要件を検討するため、薬剤師等の情報提供や郵便等販売の状況等を調査しているところ。 その結果等を踏まえて、当面の合理的な規制の在り方について、引き続き検討を行う。
②なお、医薬品の販売・流通規制の在り方については、今後の環境変化に対応し、断続的に検討・見直しを行う。＜逐次実施＞	②医薬品の販売、流通規制の在り方については、今後の環境変化に応じて検討・見直しを逐次実施する予定。
③第一類から第三類のリスク区分についても、不断の見直しを行う。＜逐次実施＞	③平成22年度より、薬事・食品衛生審議会医薬品等安全対策部会において、生薬製剤、漢方製剤等についてのリスク区分の見直しを開始した。 生薬製剤については、量的制限のある成分も含めた123生薬成分について第二類医薬品から第三類医薬品に変更すること等の薬事・食品衛生審議会の答申を受けて、平成23年9月30日にリスク区分を見直す告示を行ったところであり、同告示は、平成24年4月1日に施行される。 なお、漢方製剤については、既に告示されている233処方と新たに基準が策定された30処方について見直しを行い、薬事・食品衛生審議会、引き続き全ての漢方製剤を第二類医薬品とすることされたことから、新たに基準が策定された30処方について、平成23年12月26日に告示を行ったところであり、同告示は平成24年6月26日に施行される。
④一般用医薬品を安全・安心・円滑に供給する観点から、薬剤師等の合理的かつ適切な対面販売の実施状況、円滑供給への寄与度等について検証する。＜平成23年度検討開始＞	④平成23年度においても、「一般用医薬品販売制度定着状況調査」事業により、薬局・店舗販売業での薬剤師等の対面販売の状況について調査を実施しているところ。 また、厚生労働科学研究事業で、平成23年度より、一般用医薬品の供給状況に関する調査研究を開始したところ。平成24年度以降も引き続き調査研究を行う予定。
⑤経過措置期間中の副作用発生状況等を検証し、上記②の断続的な検討・見直しの内容に反映する。＜平成23年度以降検討開始＞	⑤企業又は医療関係者からの副作用報告について、可能な限り、平成23年度中に、流通経路別の報告状況を整理する予定。平成24年度以降も必要に応じて適宜整理する。 また、企業や業界団体の協力を得ながら、流通経路別の副作用発生率や情報提供の実施状況等についても調査ができないか、平成24年度以降検討する予定。

平成22年度一般用医薬品販売制度定着状況調査

(目的)

改正薬事法の趣旨を踏まえ、新たな販売制度の実効性を確保するため、一般消費者の立場から改正法の定着状況を点検・調査することにより、医薬品販売の適正化を図るもの。

(実施内容)

一般消費者としての調査員により、全国延べ6,829件の薬局、店舗販売業者を訪問(平成22年12月～平成23年2月)し、店舗での販売状況等について調査。
また、ウェブ上で一般用医薬品を取り扱っている販売サイト200件を対象とし、一般用医薬品に関するウェブ上の情報記載、郵便等販売の状況等について調査。

(主な調査項目)

- (1) 専門家の状況(存否、名札等による判別状況等)
- (2) 情報提供、相談対応の状況
- (3) 郵便等販売における販売状況 等

(主な調査結果)

(1) 薬局・薬店の店舗販売に関する調査

① 医薬品の陳列状況：

■ 第1類医薬品は、購入者が直接手を触れることができない陳列となっていたか：

なっていた 89.7% / なっていない 10.3%

② 店舗従事者は名札をつけていたか：

全員つけていた 72.8% / 全員がつけていたが裏返っている人がいた 1.8% /

名札をつけている人とつけていない人がいた 6.9% / 全員つけていなかった 18.5%

③ 第1類医薬品について、購入しようとした際に説明はあったか：

文書を用いて詳細な説明があった 31.5% / 文書を渡されたが詳細な説明がなかった 2.9% /

口頭のみでの説明だった 59.1% / 説明自体なかった 6.5%

④ 第2類医薬品に関する相談に対し、適切な回答があったか：

適切な回答があった 84.7% / 適切な回答がなかった 15.3%

(2) 郵便等販売に関する調査

① ウェブサイトの記載：

薬局・薬店の管理者の氏名：記載あり 93.0% / 記載なし 7.0%

リスク分類に関する定義・解説：記載あり 22.5% / 記載なし 77.5%

勤務する薬剤師・登録販売者の別・氏名：記載あり 68.5% / 記載なし 31.5% 等

② 第2類医薬品の購入可否(*)：

購入できた 67.4% / 購入できなかった 32.6%

(*) 薬局等は、離島居住者・継続使用者を除き、第2類医薬品を郵便等販売することはできない。

今回、離島居住者・継続使用者ではない調査員が注文等を行った。

③ メールでの問い合わせへの対応状況：

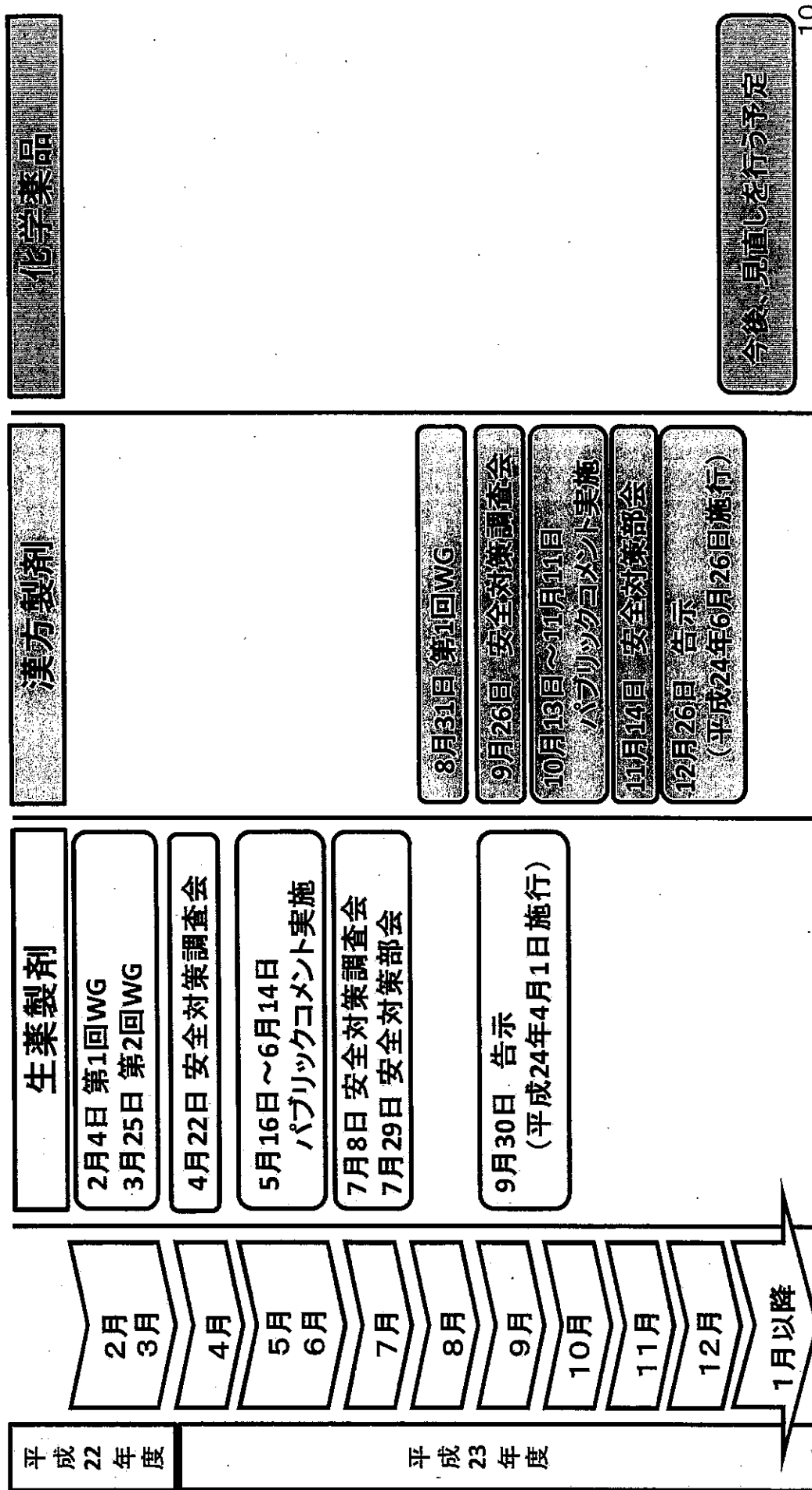
返信あり 74.0% / 返信なし 21.0% / 不達 5.0%

※ 調査結果については、各自治体に情報提供し、監視指導の強化を依頼。

また、販売業者が自己点検を行い、制度の遵守の徹底を図るよう関係団体に通知。

一般用医薬品のリスク区分の見直し

- 配合製剤の副作用報告の状況等も踏まえ、リスク区分の見直しを行っている。
- 配合パターンが単純である等、検討が容易な生薬製剤から開始し、順次、漢方製剤、化学薬品の配合剤について検討を進めている。



主な関係者の意見・主張

〔インターネット販売に反対〕

一般用医薬品のインターネット販売の禁止を求める。

消費者・薬害被害者

- 薬害対策弁護士連絡会
- 薬害オゾンパスン会議
- SIS患者会
- 新薬学研究者技術者集団
- 医薬品・治療研究会
- NPO法人医薬ビジランスセンター
- 全国消費者団体連絡会
- 主婦連合会
- 全国消費者協会連合会
- (社)全国消費者生活相談員協会
- 全国地域夫人団体連絡協議会
- NPO法人日本消費者連盟
- 東京消費者団体連絡センター
- NPO法人東京都地域婦人団体連盟
- (社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
- 全国薬害被害者団体連絡協議会
- MMR被害児を救済する会
- 大阪HIV薬害訴訟原告団
- (財)いしずえ(サリドマイド福祉センター)
- (財)京都スモン基金
- 薬害防短縮症の会
- 薬害やコブ病被害者・弁護団全国連絡会議
- 陣痛促進剤による被害を考える会
- スモンの会全国連絡協議会
- 薬害肝炎全国原告団
- イレッサ薬害被害者の会

・東京HIV訴訟原告団
安全性・利便性を考慮した、時代に即した規制に改められたい

一般用医薬品の販売は対面販売が原則であり、インターネット販売による販売は禁止すべき。

薬剤師会・薬業界

- 日本薬剤師会
- 全国医薬品小売商業組合連合会
- 全国配剤家庭薬協会
- 全日本登録販売者協会
- 日本医薬品登録販売者協会
- 日本置き薬協会
- 日本配剤販売業協会
- 日本チェーンドラッグストア協会
- 日本薬局協励会
- 日本薬業研修センター

〔その他〕

日本漢方連盟
(漢方薬局)

「電話相談による郵送販売を認めてほしい。漢方の郵送は専門家が行うのでネット販売とは異なる。」

〔インターネット販売に賛成〕

「一定のルールを作れば、インターネット販売でも安全に販売できる」

日本オンラインドラッグ協会

eビジネス推進連合会

インターネットユーザ協会

日本通信販売協会

「従来どおり、全国の顧客に、電話等を活用した郵送販売をしたい。」

全国伝統薬連絡協議会
(伝統薬メーカー等)

一般用医薬品の販売経路別副作用報告状況について

(平成22年7月29日から平成23年11月30日までの報告受付分)

1. 経路別報告症例数(平成22年7月29日～平成23年11月30日)
 - 1) 薬効分類順の経路別報告症例数一覧表(製造販売業者からの報告(症例毎))
 - 2) 医療関係者からの経路別報告症例数
 - 3) 区分順の経路別報告症例数一覧表(製造販売業者からの報告(症例毎))
2. 薬効分類順の経路別報告症例詳細(症例の販売経路判明症例のみ)

注意事項

- 1) 副作用報告については、医薬品との因果関係が不明なものを含め製造販売業者等から報告されたものであり、個別に医薬品との関連性を評価したものではない。
- 2) 副作用報告の症例については、平成22年7月29日から平成23年11月30日(以下、「本報告期間」という。)に提出された最新の報告書の症例数を示したもので、同一の症例に複数の被疑薬が存在し、当該症例が複数の企業からそれぞれ報告された場合、重複してカウントしている。
- 3) 副作用報告の症例報告数については、報告者が本報告期間中に報告した後に、本報告期間中に追加情報により因果関係が否定された場合や重篤性が変更となり報告対象外となった場合等、症例報告数から除外されている。
- 4) 副作用名は、用語の統一のため、ICH国際医薬用語集日本語版(MedDRA/J)に収載されている用語(Preferred Term: 基本語)で表示している。
- 5) 医療関係者からの報告については、製剤が特定できない症例もあり、経路別報告症例数一覧及び経路別報告症例詳細には反映せず、経路別報告症例数のみを示す。
- 6) 一般用医薬品の経路別の販売数量には大きな差があること、販売される医薬品の種類も異なることが考えられ、販売経路別の副作用報告数を単純に比較することには留意が必要である。

(参考)平成22年度適正使用情報提供状況確認等事業の結果では、一般用医薬品の購入経路は、薬局・薬店などの店頭のみでの購入が88.5%と最も多く、インターネット通信販売による購入経験者は8.9%でそのうち85%が薬局・薬店でも購入しており、購入医薬品は、薬局・薬店では第二类医薬品である風邪薬が最も多く、インターネット通信販売では第三類医薬品であるビタミン剤が最も多かったとされている。

1. 経路別報告症例数(平成22年7月29日～平成23年11月30日)

1) 薬効分類順の経路別報告症例数一覧表(製造販売業者からの報告(症例毎))

薬効分類	区分	症例							不明	記載なし
		計	店舗販売	配置販売	ネット販売	通信販売	その他 ^(注)			
催眠鎮静剤、 抗不安剤	指定 第二類	3	1						2	
解熱鎮痛消炎剤	第一類	5	2						3	
	指定 第二類	55	7	4					40	4
	第二類	12	1						10	1
興奮剤、覚せい剤	第三類	1	1							
精神神経用剤	指定 第二類	2	1						1	
総合感冒剤	指定 第二類	85	19	7		1	1	39	18	
	第二類	1	1							
骨格筋弛緩剤	指定 第二類	1	1							
眼科用剤	第三類	1								1
耳鼻科用剤	指定 第二類	3						3		
	第二類	6	2					4		
鎮暈剤	第二類	1						1		
強心剤	第二類	1						1		
鎮咳剤	第二類	1	1							
鎮咳去たん剤	指定 第二類	3	2					1		
止しゃ剤、整腸剤	第二類	2	1	1						
健胃消化剤	第二類	1								1
	第三類	1								1
制酸剤	第一類	1						1		
下剤、浣腸剤	指定 第二類	3	1					2		
	第二類	1						1		
	第三類	1	1							
複合胃腸剤	第二類	4		1				3		
その他の 消化器官用薬	第一類	1								1
痔疾用剤	第二類	1								1
その他の泌尿生殖器官 及び肛門用薬	第一類	1						1		

鎮痛, 鎮痒, 収れん, 消炎剤	第二類	3	1						2
	第三類	3	2					1	
寄生性皮膚疾患用剤	指定 第二類	1						1	
	第二類	1							1
毛髪用剤	第一類	5	3					2	
その他の 歯科口腔用剤	第三類	1						1	
ビタミンB1剤	第三類	3							3
混合ビタミン剤 (ビタミンA・ビタミンD混 合製剤を除く)	第三類	3	1					1	1
その他のビタミン剤	第一類	2	2						
カルシウム剤	第二類	12						12	
その他の滋養強壮薬	第二類	4						2	2
総合代謝性製剤	第二類	2						1	1
他に分類されない 代謝性医薬品	第二類	2							2
抗ヒスタミン剤	第二類	2	1						1
生薬	指定 第二類	1							1
	第二類	2							2
	第三類	1							1
漢方製剤	第二類	35	12	1				17	5
その他の生薬及び漢方 処方に基づく医薬品	第二類	7						5	2
他に分類されない治療 を主目的としない 医薬品	第一類	5	2					3	
	指定 第二類	7	2						5
計		300	68	14	0	1	1	159	57

参考)

販売経路の用語	販売方法に関する情報
店舗販売	薬局又は店舗販売
配置販売	配置販売
ネット販売	インターネットによる通信販売
通信販売	その他の通信販売(電話等)
不明	不明
その他	上記以外の販売方法であったもの
記載なし	報告がなかったもの

2) 医療関係者からの経路別報告症例数

医療関係者からの報告は、50症例ありそのうち「店舗販売」が3症例で、「記載なし」が47症例であった。

3) 区分順の経路別報告症例数一覧表(製造販売業者からの報告(症例毎))

区分	薬効分類	症例							
		計	店舗販売	配置販売	ネット販売	通信販売	その他 ^(注1)	不明	記載なし
第一類	解熱鎮痛消炎剤	5	2					3	
	制酸剤	1						1	
	その他の消化器官用薬	1							1
	その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	1						1	
	毛髪用剤	5	3					2	
	その他のビタミン剤	2	2						
	他に分類されない治療を主目的としない	5	2					3	
指定第二類	催眠鎮静剤、抗不安剤	3	1					2	
	解熱鎮痛消炎剤	55	7	4				40	4
	精神神経用剤	2	1					1	
	総合感冒剤	85	19	7		1	1	39	18
	骨格筋弛緩剤	1	1						
	耳鼻科用剤	3						3	
	鎮咳去たん剤	3	2					1	
	下剤、浣腸剤	3	1					2	
	寄生性皮膚疾患用剤	1						1	
	生薬	1							1
	他に分類されない治療を主目的としない医薬品	7	2						5
第二類	解熱鎮痛消炎剤	12	1					10	1
	総合感冒剤	1	1						
	耳鼻科用剤	6	2					4	
	鎮暈剤	1						1	
	強心剤	1						1	
	鎮咳剤	1	1						
	止しゃ剤、整腸剤	2	1	1					
	健胃消化剤	1							1
	下剤、浣腸剤	1						1	
	複合胃腸剤	4		1				3	
	痔疾用剤	1							1

	鎮痛、鎮痒、 収れん、消炎剤	3	1						2
	寄生性皮膚疾患用剤	1							1
	カルシウム剤	12						12	
	その他の滋養強壮薬	4						2	2
	総合代謝性製剤	2						1	1
	他に分類されない 代謝性医薬品	2							2
	抗ヒスタミン剤	2	1						1
	生薬	2							2
	漢方製剤	35	12	1				17	5
	その他の生薬及び漢 方処方に基づく医薬品	7						5	2
第三類	興奮剤、覚せい剤	1	1						
	眼科用剤	1							1
	健胃消化剤	1							1
	下剤、浣腸剤	1	1						
	鎮痛、鎮痒、 収れん、消炎剤	3	2					1	
	その他の 歯科口腔用剤	1						1	
	ビタミンB1剤	3							3
	混合ビタミン剤 (ビタミンA・ビタミンD 混合製剤を除く)	3	1					1	1
	生薬	1							1

区分	症例							不明	記載なし
	計	店舗販売	配置販売	ネット販売	通信販売	その他 ^(注1)			
第一類	20	9	0	0	0	0		10	1
指定第二類	164	34	11	0	1	1		89	28
第二類	101	20	3	0	0	0		57	21
第三類	15	5	0	0	0	0		3	7

注1) 配置薬を知人から貰った。

2. 薬効分類順の経路別報告症例詳細(症例の販売経路判明症例のみ)

薬効分類順

薬効分類	区分	成分	副作用名PT	集計	経路
催眠鎮静剤、 抗不安剤	指定 第二類	2錠中ジフェンヒドラミン塩酸塩50mg	痙攣	1	店舗販売
解熱鎮痛消炎剤	第一類	ロキソプロフェンナトリウム水和物 68.1mg(無水物として60mg)	喘息、気管支肺炎	1	店舗販売
			喘息発作重積	1	店舗販売
解熱鎮痛消炎剤	指定 第二類	6錠中イブプロフェン450mg, アリルイソプロピルアセチル尿素180mg, 無水カフェイン240mg	中毒性表皮壊死融解症	1	店舗販売
解熱鎮痛消炎剤	指定 第二類	2錠中 イブプロフェン150mg, アリルイソプロピルアセチル尿素60mg, 無水カフェイン80mg	多形紅斑	1	店舗販売
解熱鎮痛消炎剤	指定 第二類	エテンザミド 200mg、アセトアミノフェン 80mg、無水カフェイン 40mg、酸化マグネシウム 50mg	アナフィラキシーショック	1	店舗販売
解熱鎮痛消炎剤	指定 第二類	1包(1.6g)中アセトアミノフェン265mg, エテンザミド300mg, プロムワレリル尿素200mg, 無水カフェイン50mg	薬物依存、各種物質毒性、肺炎	1	店舗販売
解熱鎮痛消炎剤	指定 第二類	4錠中アセトアミノフェン600mg, エテンザミド1g, アリルイソプロピルアセチル尿素120mg, 無水カフェイン200mg, ベンフォチアミン10mg	多形紅斑	1	配置販売
解熱鎮痛消炎剤	指定 第二類	アセトアミノフェン 600mg、エテンザミド 1000mg、無水カフェイン 200mg、アリルイソプロピルアセチル尿素 120mg、ベンフォチアミン 25mg、カンゾウ乾燥エキス 72mg (甘草504mg)	アナフィラキシー様反応	1	配置販売
			薬疹	1	配置販売
解熱鎮痛消炎剤	指定 第二類	6錠中イブプロフェン450mg, アリルイソプロピルアセチル尿素180mg, 無水カフェイン240mg	スティーブンス・ジョンソン症候群	1	店舗販売
解熱鎮痛消炎剤	指定 第二類	1錠中アスピリン330mg, ヒドロタルサイト100mg	薬疹	1	店舗販売
解熱鎮痛消炎剤	指定 第二類	3包(2.3g)中アスピリン900mg, アセトアミノフェン600mg, 無水カフェイン200mg, プロムワレリル尿素200mg, 乾燥水酸化アルミニウムゲル100mg	アナフィラキシー反応	1	配置販売
解熱鎮痛消炎剤	指定 第二類	2錠中イブプロフェン150mg, アリルイソプロピルアセチル尿素60mg, 無水カフェイン80mg	スティーブンス・ジョンソン症候群	1	店舗販売

解熱鎮痛消炎剤	第二類	2錠中イブプロフェン150mg	スティーブンス・ジョンソン症候群、中毒性表皮壊死融解症	1	店舗販売
興奮剤、覚せい剤	第三類	1瓶(30mL)中カフェイン150mg, 塩酸チアミン10mg, 塩酸ピリドキシン5mg, グリセロリン酸カルシウム20mg, ニコチン酸アミド15mg, ゴオウ浸出液1mL, アミノエチルスルホン酸1g	間質性肺疾患	1	店舗販売
精神神経用剤	指定第二類	10錠中チョウトウ末・サンソウニン・テンナンショウ末・シンイ末・インヨウカク末・サイシン末各30mg, ニンジン末475mg, プロムワレリル尿素600mg, カフェイン300mg, ルチン50mg, グリセロリン酸カルシウム300mg	アナフィラキシーショック	1	店舗販売
総合感冒剤	指定第二類	30mL中アセトアミノフェン314mg, リン酸ジヒドロコデイン10mg, dl-塩酸メチルエフェドリン21mg, マレイン酸クロルフェニラミン4mg, カフェイン40mg, リン酸リボフラビンナトリウム1.5mg	中毒性表皮壊死融解症	1	店舗販売
総合感冒剤	指定第二類	9錠中イブプロフェン450mg, リン酸ジヒドロコデイン24mg, dl-塩酸メチルエフェドリン60mg, マレイン酸クロルフェニラミン7.5mg, 無水カフェイン75mg, 硝酸チアミン24mg, アスコルビン酸300mg	肝障害、多形紅斑	1	店舗販売
総合感冒剤	指定第二類	9錠中イブプロフェン450mg, マレイン酸クロルフェニラミン7.5mg, リン酸ジヒドロコデイン24mg, dl-塩酸メチルエフェドリン60mg, 無水カフェイン75mg, リボフラビン12mg	多形紅斑	1	店舗販売
			薬疹、肝機能異常	1	店舗販売
総合感冒剤	指定第二類	3包(3.6g)中アセトアミノフェン600mg, エテンザミド500mg, d-マレイン酸クロルフェニラミン3.5mg, リン酸ジヒドロコデイン24mg, dl-塩酸メチルエフェドリン40mg, 無水カフェイン125mg, ベンフォチアミン25mg, カンゾウエキス末714mg(カンゾウ4.998g)	肝壊死、肝機能異常、腎機能障害	1	配置販売

総合感冒剤	指定 第二類	アセトアミノフェン 900mg、クロルフェニラミンマレイン酸塩 7.5mg、ジヒドロコデインリン酸塩 24mg、dl-メチルエフェドリン塩酸塩 60mg、グアヤコールスルホン酸カリウム 250mg、無水カフェイン 75mg、ベンフォチアミン 25mg、リボフラビン 12mg、ヘスペリジン 45mg、カンゾウ末 800mg、セネガ乾燥エキス 24mg (セネガ400.8mg)	間質性肺疾患	1	配置販売
総合感冒剤	指定 第二類	3錠中ジヒドロコデインリン酸塩 8mg、dl-メチルエフェドリン塩酸塩 20mg、グアイフェネシン 41.67mg、アセトアミノフェン 300mg、リゾチーム塩酸塩 20mg(力価)、マレイン酸カルビノキサミン2.5mg、無水カフェイン 25mg、ビスイブチアミン8mg、リボフラビン4mg	胆汁うっ滞性肝炎	1	店舗販売
総合感冒剤	指定 第二類	1包(1.2g)中ジヒドロコデインリン酸塩8mg、dl-メチルエフェドリン塩酸塩20mg、グアイフェネシン 41.67mg、アセトアミノフェン 300mg、リゾチーム塩酸塩 20mg(力価)、マレイン酸カルビノキサミン2.5mg、無水カフェイン 25mg、ビスイブチアミン8mg、リボフラビン4mg	肝障害	1	店舗販売
			薬疹	1	店舗販売
総合感冒剤	指定 第二類	9錠中イブプロフェン450mg、ジヒドロコデインリン酸塩24mg、dl-メチルエフェドリン塩酸塩60mg、無水カフェイン75mg、クロルフェニラミンマレイン酸塩7.5mg、チアミン硝酸塩24mg、アスコルビン酸300mg	発熱、多形紅斑	1	店舗販売
総合感冒剤	指定 第二類	2カプセル中イソプロピルアンチピリン150mg、アセトアミノフェン 225mg、マレイン酸クロルフェニラミン3.75mg、リン酸ジヒドロコデイン6mg、dl-塩酸メチルエフェドリン30mg、カンゾウエキス末59mg(カンゾウ491.5mg)、無水カフェイン37.5mg	アナフィラキシーショック	1	店舗販売
			肝障害	1	店舗販売
			中毒性表皮壊死融解症	1	店舗販売
総合感冒剤	指定 第二類	9錠イブプロフェン450mg、塩酸ブソイドエフェドリン135mg、マレイン酸クロルフェニラミン7.5mg、リン酸ジヒドロコデイン24mg、無水カフェイン75mg	スティーブンス・ジョンソン症候群	1	店舗販売

総合感冒剤	指定 第二類	9錠中アセトアミノフェン900mg, ヨウ化イソプロパミド6mg, d-クロルフェニラミンマレイン酸塩3.5mg, トラネキサム酸420mg, ジヒドロコデインリン酸塩24mg, dl-メチルエフェドリン塩酸塩60mg, 無水カフェイン75mg, ヘスペリジン90mg	痙攣、発熱	1	店舗販売
総合感冒剤	指定 第二類	3包(2.1g)中アセトアミノフェン900mg, dl-塩酸メチルエフェドリン30mg, 無水カフェイン75mg, カンゾウ末200mg, ケイヒ末200mg, ショウキョウ末100mg	間質性肺疾患	1	店舗販売
総合感冒剤	指定 第二類	6カプセル中ゴオウ20mg, ジリュウ乾燥エキス129mg(ジリュウ993.3mg), アセトアミノフェン600mg, マレイン酸クロルフェニラミン7.5mg, リン酸ジヒドロコデイン24mg, dl-塩酸メチルエフェドリン60mg, 無水カフェイン75mg, 酸化マグネシウム140mg	中毒性表皮壊死融解症、好酸球増加と全身症状を伴う薬疹	1	その他 (※)
総合感冒剤	指定 第二類	9錠中アセトアミノフェン・900mg, マレイン酸クロルフェニラミン・6.6mg, クエン酸チペピジン・45mg, dl-塩酸メチルエフェドリン・45mg, 無水カフェイン・90mg, ベンフォチアミン・24mg, リボフラビン・12mg	アナフィラキシー反応	1	配置販売
			そう痒症、紅斑	1	配置販売
総合感冒剤	指定 第二類	3包(3.6g)中アセトアミノフェン900mg, マレイン酸クロルフェニラミン7.5mg, リン酸ジヒドロコデイン24mg, dl-塩酸メチルエフェドリン60mg, 無水カフェイン75mg, チアミンジスルフィド24mg, リボフラビン12mg, カンゾウ末800mg	アナフィラキシーショック	1	配置販売
			スティーブンス・ジョンソン症候群	1	配置販売
			中毒性表皮壊死融解症	1	配置販売
総合感冒剤	指定 第二類	3包(1包1200mg)中アセトアミノフェン900mg, マレイン酸クロルフェニラミン7.5mg, リン酸ジヒドロコデイン24mg, dl-塩酸メチルエフェドリン60mg, 無水カフェイン75mg, チアミンジスルフィド(ビタミンB1)24mg, リボフラビン(ビタミンB2)12mg, カンゾウ末800mg	ヘノッホ・シェーンライン紫斑病	1	店舗販売
総合感冒剤	指定 第二類	1包中アセトアミノフェン160mg, エテンザミド230mg, dl-塩酸メチルエフェドリン10mg, 無水カフェイン50mg, グリシン60mg, ケイヒ末50mg	アナフィラキシーショック	1	通信販売

総合感冒剤	指定 第二類	イブプロフェン 450mg、dl-塩酸メチルエフェドリン 60mg、ヒベンズ酸チペピジン 75mg、グアヤコールスルホン酸カリウム 250mg、d-マレイン酸クロルフェニラミン 3.5mg、無水カフェイン 75mg、リボフラビン 12mg、硝酸チアミン 25mg、グリシン 180mg	肝障害	1	店舗販売
総合感冒剤	指定 第二類	9錠中フマル酸クレマスチン1.34mg、塩化リゾチーム(リゾチームとして)90mg(力価)、ペラドンナ総アルカロイド0.3mg、アセトアミノフェン900mg、リン酸ジヒドロコデイン24mg、ノスカピン48mg、dl-塩酸メチルエフェドリン60mg、無水カフェイン75mg、ベンフォチアミン24mg	アナフィラキシーショック	1	店舗販売
			浮動性めまい	1	店舗販売
総合感冒剤	指定 第二類	9錠中フマル酸クレマスチン1.34mg、塩化リゾチーム(リゾチームとして)60mg(力価)、アセトアミノフェン900mg、リン酸ジヒドロコデイン24mg、ノスカピン36mg、dl-塩酸メチルエフェドリン60mg、グアヤコールスルホン酸カリウム240mg、無水カフェイン75mg、ベンフォチアミン24mg	横紋筋融解症	1	店舗販売
総合感冒剤	第二類	3錠中マレイン酸クロルフェニラミン2.5mg、クエン酸ベントキシベリン16mg	中毒性表皮壊死融解症	1	店舗販売
骨格筋弛緩剤	指定 第二類	2錠中クロルゾキサゾン300mg、エテンザミド300mg、カフェイン50mg	アナフィラキシーショック	1	店舗販売
耳鼻科用剤	第二類	ケトチフェンフマル酸塩 1.38mg(ケトチフェン1mg)	発声障害	1	店舗販売
			痙攣	1	店舗販売
鎮咳剤	第二類	2カプセル中デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物60mg、ジプロフィリン200mg、リゾチーム塩酸塩40mg(力価)	アナフィラキシー様反応	1	店舗販売
鎮咳去たん剤	指定 第二類	12錠中カルボシステイン750mg、リン酸ジヒドロコデイン30mg、ノスカピン60mg、dl-塩酸メチルエフェドリン75mg、マレイン酸クロルフェニラミン12mg	発疹	1	店舗販売
鎮咳去たん剤	指定 第二類	60mL中リン酸ジヒドロコデイン30mg、グアイフェネシン170mg、マレイン酸クロルフェニラミン12mg、無水カフェイン62mg	呼吸困難	1	店舗販売

止しゃ剤、整腸剤	第二類	18錠中アクリノール120mg, タンニン酸ベルベリン180mg, ウルソデオキシコール酸30mg, ゲンノショウコエキス末250mg(ゲンノショウコ1.5g), ロートエキス3倍散135mg(ロートエキス45mg)	乏尿、便秘	1	店舗販売
止しゃ剤、整腸剤	第二類	18錠中アクリノール120mg, タンニン酸ベルベリン180mg, ゲンノショウコエキス200mg(ゲンノショウコ2g), ヨウバイヒ末300mg, ロートエキス3倍散150mg, ウルソデオキシコール酸30mg	肝障害	1	配置販売
下剤、浣腸剤	指定第二類	40丸中ダイオウ0.8g, センナ・マシニン各0.6g, カンゾウ・シャクヤク各0.2g, サンキライ0.3g	甲状腺機能亢進症	1	店舗販売
下剤、浣腸剤	第三類	1個中炭酸水素ナトリウム0.5g, 無水リン酸二水素ナトリウム0.68g	敗血症性ショック	1	店舗販売
複合胃腸剤	第二類	3包(2.7g)中ケイ酸アルミン酸マグネシウム1.2g, 炭酸マグネシウム300mg, 炭酸水素ナトリウム750mg, ロートエキス3倍散90mg, アルジオキサ200mg, 銅クロロフィリンナトリウム48mg, カンゾウ末300mg, ウルソデオキシコール酸30mg, リパーゼAP6 120mg, ビオチン25mg, プロザイム30mg, ケイヒ末300mg, ゲンチアナ末150mg	急性肝炎	1	配置販売
鎮痛、鎮痒、収れん、消炎剤	第二類	100g中ブフェキサマク1g, グリチルレチン酸0.2g	接触性皮膚炎	1	店舗販売
鎮痛、鎮痒、収れん、消炎剤	第三類	100g中サリチル酸メチル6.29g, l-メントール5.71g, 酢酸トコフェロール2g, dl-カンフル1.24g(1枚6.5×4.2cm ²)	接触性皮膚炎	1	店舗販売
鎮痛、鎮痒、収れん、消炎剤	第三類	100g中サリチル酸グリコール5.56g, l-メントール5.56g(1枚7×10cm ² 。伸縮性)	接触性皮膚炎、薬疹	1	店舗販売
毛髪用剤	第一類	100mL中ミノキシジル1g	心房粗動	1	店舗販売
毛髪用剤	第一類	100mL中ミノキシジル5g	带状疱疹	1	店舗販売
			濾胞中心リンパ腫、濾胞グレード1、2、3	1	店舗販売

混合ビタミン剤(ビタミンA・ビタミンD混合製剤を除く)	第三類	3錠中メコバミン1500 μ g, 葉酸5mg, 酢酸d- α -トコフェロール100mg, 塩酸フルスルチアミン109.16mg(フルスルチアミンとして100mg), 塩酸ピリドキシン100mg	アナフィラキシーショック	1	店舗販売
その他のビタミン剤	第一類	6錠中トラネキサム酸750mg, L-システイン240mg, アスコルビン酸(ビタミンC)300mg, ピリドキシン塩酸塩(ビタミンB6)6mg, パントテン酸カルシウム24mg	気胸	1	店舗販売
			脳血栓症	1	店舗販売
抗ヒスタミン剤	第二類	1錠中マレイン酸クロルフェニラミン1.5mg, 塩酸ピリドキシン2.5mg, グリチルリチン酸カリウム20mg, グルコン酸カルシウム150mg	横紋筋融解症、低カリウム血症、偽アルドステロン症	1	店舗販売
漢方製剤	第二類	1包(4.5g)中芍薬甘草湯エキス粉末1450mg(シャクヤク・カンゾウ各3gより抽出)	肝機能異常	1	店舗販売
漢方製剤	第二類	12錠中ジオウ末(熟ジオウ)890mg, サンシュユ末・サンヤク末各445mg, タクシャ末・ブクリョウ末・ボタンピ末各334mg, ケイヒ末・修治ブシ末各111mg	尿閉	1	店舗販売
漢方製剤	第二類	12錠中防風通聖散エキス粉末2.75g(トウキ・マオウ・シャクヤク・センキュウ・サンシシ・レンギョウ・ハッカ・ケイガイ・ボウフウ各0.6g, ダイオウ0.75g, 乾燥硫酸ナトリウム0.375g, ビャクジュツ・キキョウ・オウゴン・カンゾウ・セッコウ各1g, ショウキョウ0.2g, カッセキ1.5g)	肝機能異常	1	店舗販売
漢方製剤	第二類	12錠中大柴胡湯乾燥エキス2.25g(サイコ3.0g, ハンゲ2.0g, ショウキョウ0.5g, オウゴン1.5g, シャクヤク1.5g, タイソウ1.5g, キジツ1.0g, ダイオウ0.5g)	腎炎、肝機能異常	1	店舗販売
漢方製剤	第二類	小青竜湯エキス2.5g(ハンゲ3g, カンゾウ・ケイヒ・ゴミシ・サイシン・シャクヤク・マオウ・ショウキョウ各1.5g)	急性好酸球性肺炎	1	店舗販売
漢方製剤	第二類	12錠中葛根湯エキス末2.4g(カッコン4g, マオウ・タイソウ各2g, ケイヒ・シャクヤク各1.5g, カンゾウ1g, ショウキョウ0.5g)	薬疹	1	店舗販売

漢方製剤	第二類	3包(3.9g)中カッコン湯乾燥エキス1.7g(カッコン4g, マオウ・タイソウ各3g, ケイヒ・シャクヤク・カンゾウ各2g, ショウキョウ1g)	アナフィラキシーショック	1	配置販売
漢方製剤	第二類	3包(4.5g)中葛根湯エキス末M3.9g(カッコン6g, マオウ・タイソウ各3g, ケイヒ・シャクヤク各2.25g, カンゾウ1.5g, ショウキョウ0.75g)	肝機能異常	1	店舗販売
漢方製剤	第二類	12錠中防風通聖散料エキス末2.85g(トウキ・シャクヤク・センキュウ・サンシシ・レンギョウ・ハッカ・ケイガイ・ボウフウ・マオウ各0.6g, ビャクジュツ・キキョウ・オウゴン・カンゾウ・セッコウ各1g, 乾燥硫酸ナトリウム0.375g, ショウキョウ0.2g, ダイオウ0.75g, カッセキ1.5g)	肝機能異常	1	店舗販売
			肝機能検査異常	1	店舗販売
漢方製剤	第二類	防風通聖散料エキス粉末2850mg(トウキ・シャクヤク・センキュウ・サンシシ・レンギョウ・ハッカ・ケイガイ・ボウフウ・マオウ各0.6g, ビャクジュツ・キキョウ・オウゴン・カンゾウ・セッコウ各1g, 乾燥硫酸ナトリウム0.375g, ショウキョウ0.2g, ダイオウ0.75g, カッセキ1.5g)	肝機能異常	1	店舗販売
漢方製剤	第二類	12錠中防風通聖散料エキス粉末2850mg(トウキ・シャクヤク・センキュウ・サンシシ・レンギョウ・ハッカ・ケイガイ・ボウフウ・マオウ各0.6g, ビャクジュツ・キキョウ・オウゴン・カンゾウ・セッコウ各1g, 乾燥硫酸ナトリウム0.375g, ショウキョウ0.2g, ダイオウ0.75g, カッセキ1.5gより抽出)	肝機能異常	1	店舗販売
			好酸球性肺炎	1	店舗販売
他に分類されない治療を主目的としない医薬品	第一類	1枚(20cm ²)中ニコチン35mg	浮動性めまい、動悸、悪心	1	店舗販売
			疼痛、歯周炎	1	店舗販売
他に分類されない治療を主目的としない医薬品	指定第二類	1個中ニコチン2mg	アナフィラキシー様反応	1	店舗販売
他に分類されない治療を主目的としない医薬品	指定第二類	ニコチン 2mg	意識消失	1	店舗販売

※配置薬を知人から貰った

